

## 富山県立大学学生の活動を契機とする高岡漆器碗の完成報告会

### 概要

2021年3月12日(金)、富山市堀端町の「来人喜人 はぎ原」にて、富山県立大学の学生でつくる「DEN-DEN」の活動を契機に制作された高岡漆器碗の完成報告会を開催する。

DEN-DENでは、昨年5月から、富山県の伝統的工芸品「高岡漆器」の認知度の向上のため高岡漆器組合の人々と協働しながら、SNSを用いた情報発信、現代のお客様のニーズにあった商品や販路拡大を目的とした事業提案を実施している。その活動の一環として、昨年9月、日本海ガス絆ホールディングスグループの株式会社日本海ラボが主催する第一回北陸ビジネスプランコンテストへ出場した。それを契機に交流の生まれた料亭からの依頼を受け制作を開始した高岡漆器碗(図1)が2月に完成した。この漆器碗は今年3月より実際に使用されている。

高岡漆器碗の制作を依頼し、使用しているのは本企画の会場でもある「来人喜人 はぎ原」店主、萩原豊(ゆたか)氏。富山の食材を活かした料理はもちろんのこと、食器に対しても造詣が深く、器の美しさでも訪れる人々を楽しませる。萩原氏が今回発注したのは高岡漆器の特徴的な技法である青貝塗の桜がふたに施された高岡漆器碗。今年3月から4月末までの食事提供に使用される予定である。

高岡漆器碗の制作依頼を受注したのは、高岡市地子木町の有限会社武蔵川工房(以下 武蔵川工房)。高岡漆器の青貝塗を施した碗の制作は前例がなく、曲面の多い碗に装飾を施すのは難易度が高い中、伝統工芸士の武蔵川剛嗣(たけし)氏が制作に成功した。

本企画では、高岡漆器碗制作の経緯をDEN-DEN代表の山崎裕貴(ゆうき)さんが報告し、制作に携わった関係者をゲストとし、高岡漆器碗を用いて実際に提供されている料理の試食会を行う。

(ゲスト)

- ・武蔵川義則(よしのり)氏:武蔵川工房代表取締役・伝統工芸士
- ・新田洋太郎(ようたろう)氏: DEN-DEN への萩原氏の紹介者

(日本海ガス絆ホールディングス株式会社 代表取締役)

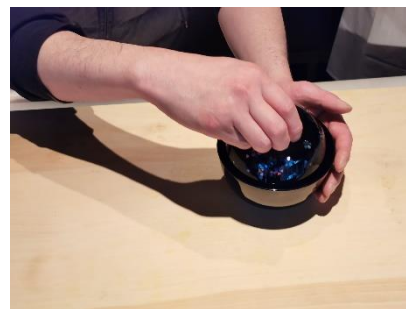


図1 高岡漆器碗

## 会場

・富山県富山市堀端町 1-11 来人喜人 はぎ原

## タイムスケジュール

2021年3月12日(金)

- ・14:20～14:40 DEN-DEN の活動報告、高岡漆器椀、料理の説明・撮影
- ・14:40～15:20 実食
- ・15:20～15:40 取材対応

## 企画内容

・DEN-DEN の活動報告、高岡漆器椀、料理の説明・撮影

DEN-DEN が、今回の高岡漆器椀の制作の経緯を報告する。

また、萩原氏に春から提供されるコース内容について紹介いただき、武蔵川氏に高岡漆器および高岡漆器椀について紹介いただく。

[DEN-DEN 山田]